

自動車業界 550 万の働く人々と自動車ユーザーへ感謝を伝える 『クルマ・社会・パートナーシップ大賞』（C S P 大賞） 第 2 回（2022 年度）受賞者が決定

日本自動車会議所は、このたび日刊自動車新聞社と共催している第 2 回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」（C S P 大賞）の受賞者が決定されましたので、お知らせいたします。

C S P 大賞は、自動車業界で働く 550 万の人々と自動車ユーザーによるさまざまな貢献に「ありがとう」と感謝を伝え、それぞれの素晴らしい取り組みが世の中に広がっていく一助になればとの思いから、新たな表彰制度として 2021 年に創設いたしました。

第 2 回目を迎える今回は、昨年 9 月の公募開始以降、11 月末までの約 2 カ月間、日本全国から 68 件にのぼるご応募をいただき、その後、選考委員会（委員長：鎌田実 東京大学名誉教授・日本自動車研究所所長）の審議を経て、受賞者公表の運びとなりました。

なお、表彰式は 2 月 10 日（金）に都内会場（芝パークホテル（港区芝大門））にて開催する予定です。

第 2 回 C S P 大賞では、選考委員会により、30 件の「グッドパートナーシップ事業」が選定され、その中から「大賞」、それに次ぐ「選考委員特別賞」が決定。そして部門賞となる「モビリティ・ソリューション賞」「地域・コミュニティ活性化賞」「SDGs 貢献賞」「自動車ユーザー連携賞」の各賞が決められました。

選考委員会の鎌田委員長は「今回も昨年の第 1 回 C S P 大賞と同じレベルの応募数をいただき、『ありがとう』と感謝を伝えたいと思います。各応募内容も長期間にわたり地道に熱心に取り組まれているものが多く、前回にも増して難題を突き付けられる議論となりました。昨年は 19 件のグッドパートナーシップ事業を選定しましたが、今回は『それぞれの取り組みが世の中にさらに広がっていくきっかけにする』との制度の主旨をより意識して、受賞事業の数には強くこだわらない、との方向から丁寧に審議を進めました」と選考経緯について述べました。

そのうえで鎌田委員長は「大賞となった十勝バスの『アナログ重視型の真の MaaS 実装へ導くオールドニュータウン再活性と町内会作りプロジェクト』は、人口高齢化・移動難民や買物難民の発生という日本各地で起こっている課題に対して、事業者と行政・地域住民がそれぞれの役割を果たしながら同じベクトルを向いて成果をあげてきている有力な取り組みであり、第 1 回（2021 年度）大賞受賞の茨城県境町とも共通する内容を有しています。コロナ禍で大打撃を受けている地域公共交通事業者にも明るい話題として浸透していくことが期待され、そうした点も各選考委員から高く評価されたものと思います」と受賞理由の一端を語りました。

受賞事業および表彰式の概要は別紙のとおりです。

（本発表資料のお問い合わせ先）
一般社団法人 日本自動車会議所
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30
日本自動車会館 15 階
TEL. 03-3578-3880 FAX. 03-3578-3883
E-mail. Award2022@aba-j.or.jp
担当：勝田、田村



第 2 回「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」受賞事業について

I 大賞・選考委員特別賞・部門賞受賞者（グッドパートナーシップ 30 事業より選定）

1. 大 賞

郊外エリアの地域再活性や移動機会増加を目指し、地域のコミュニティづくりをベースとしたアナログ重視型 MaaS 実装の諸活動	十勝バス(株) (北海道帯広市)
---	---------------------

2. 選考委員特別賞

地元の声を受け社内有志「車イスドクターズ」が近隣施設を定期的に訪問。年 500 台以上の車イス修理を 26 年にわたり活動	豊田合成(株) (愛知県清須市)
---	---------------------

3. 部門賞

(1) モビリティ・ソリューション賞

車イス利用者に向けた移動型バリアフリートイレ「モバイルトイレ」の開発や震災被災者への車中泊に関する啓発活動の取り組み	トヨタ自動車(株) (愛知県豊田市)
AI 等の活用により運転特性計測などができる「GOOD DRIVE アプリ」を全てのドライバーへ無料提供するなど交通安全への貢献	ソニー損害保険(株) (東京都大田区)

(2) 地域・コミュニティ活性化賞

買い物空白地域の困りごと対応のため、地元スーパーと連携した食料品や日用品などの買い物代行サービス「ジモトヨタ」の展開	トヨタモビリティ東京(株) (東京都港区)
子供達の地域社会での健全な成長への支援として、児童養護施設に対してランドセル寄贈を行う「ラン活」の取り組み	(株) ホンダカーズ東総 (千葉県旭市)
創立 75 周年に開業した施設「ミナテラスとちぎ」を活用した一時預かり託児所開設や各種イベント開催など地域に貢献する諸活動	栃木トヨタ(株) (栃木県宇都宮市)

(3) **SDGs 貢献賞**

全国の盲導犬不足の状況を受けて、会員企業社員や一般からの募金を基に盲導犬育成への助成を行う 30 年以上にわたる活動の継続	(一社) 日本自動車販売協会連合会 (東京都港区)
地球温暖化防止に向けて独自の継続的なエコドライブを実践し、CO ₂ 等削減を図る「グリーン・エコプロジェクト事業」の取り組み	(一社) 東京都トラック協会 (東京都新宿区)

(4) **自動車ユーザー連携賞**

職業ドライバーのマナー向上・ユニバーサルデザイン化により、ドライバー・利用者双方の安全・安心に寄与し、地域に貢献する諸活動	神奈川トヨタ自動車(株) (神奈川県横浜市)
学生フォーミュラ大会の開催を通じて、大学生・高等専門学校生が実践的なものづくりを学ぶ 20 年にわたる人材育成活動の継続	(公社) 自動車技術会 (東京都千代田区)

Ⅱ 「グッドパートナーシップ事業」全 30 事業

□…上位賞受賞

①	免許不要で歩道を走れる近距離モビリティ「WHILL」の普及による自動車ディーラーとも連携した交通諸課題解決に向けた対応	WHILL (株) (東京都品川区)
②	トラック物流に携わる人へ感謝を伝えるプロジェクトやコミュニティバス専用スタッドレスタイヤの商品化	TOYO TIRE (株) (兵庫県伊丹市)
③	買い物空白地域の困りごと対応のため、地元スーパーと連携した食料品や日用品などの買い物代行サービス「ジモトヨタ」の展開	トヨタモビリティ東京(株) (東京都港区) 地域・コミュニティ活性化賞
④	離島において小型 EV を平日公用車、休日は島民利用することなどを通じた EV 普及・環境負荷軽減、公用車管理費削減などへの対応	鹿児島トヨタ自動車(株) (鹿児島県鹿児島市)
⑤	参加者の環境保護意識を高めるための公的機関と連携した森づくり事業やオークションにおけるCO ₂ 削減に関する取り組み	(株)オークネット (東京都港区)
⑥	公共交通が不便な地区で利用者と地元企業が支える定額送迎サービス「チョイソコひさえだ」を開始し他地区にも展開する取り組み	ネットヨタ瀬戸内(株) (愛媛県松山市)
⑦	地元の声を受け社内有志「車イスドクターズ」が近隣施設を定期的に訪問。年 500 台以上の車イス修理を 26 年にわたり活動	豊田合成(株) (愛知県清須市) 選考委員特別賞
⑧	自然と共生する工場を目指して従業員ボランティアによる森林整備や地元と連携した河川の清掃・環境学習活動を進める取り組み	愛三工業(株) (愛知県大府市)
⑨	車イス利用者に向けた移動型バリアフリーストイレ「モバイルトイレ」の開発や震災被災者への車中泊に関する啓発活動の取り組み	トヨタ自動車(株) (愛知県豊田市) モビリティ・ソリューション賞
⑩	交通事故のない安全な社会の実現に向けた交通安全教室・サポカー体験会開催など 30 年にわたる地道な交通安全活動の継続	(一社)長野県自動車販売店協会 (長野県長野市)

⑪	AI等の活用により運転特性計測などができる「GOOD DRIVE アプリ」を全てのドライバーへ無料提供するなど交通安全への貢献	ソニー損害保険(株) (東京都大田区) モビリティ・ソリューション賞
⑫	全国の盲導犬不足の状況を受けて、会員企業社員や一般からの募金を基に盲導犬育成への助成を行う30年以上にわたる活動の継続	(一社)日本自動車販売協会連合会 (東京都港区) SDGs 貢献賞
⑬	車内の3密という課題に対し、ニューノーマルな車室空間の創出を目指すタクシー向け飛沫防止パーティション「vi:ease」の実用化	トヨタ紡織(株) (愛知県刈谷市)
⑭	子供達の地域社会での健全な成長への支援として、児童養護施設に対してランドセル寄贈を行う「ラン活」の取り組み	(株)ホンダカーズ東総 (千葉県旭市) 地域・コミュニティ活性化賞
⑮	会員店ネットワークを活用し、共生社会の実現に向けた福祉車両利用拡大・清掃活動・震災避難場所提供・交通安全啓発などの諸活動	東京都中古自動車販売商工組合 (東京都足立区)
⑯	自動車業界に関わる女性が貢献できる交通安全啓発として、ドライビングシューズなどの利用拡大などを呼びかける諸活動	交通安全プロジェクト 「OKISHU」(オキシュ)
⑰	使用済自動車の部品を再利用する自動車リユース部品のCO ₂ 削減効果を基に利用拡大や環境啓発などに取り組む一連の諸活動	NGP 日本自動車リサイクル事業 協同組合 (東京都港区)
⑱	地球温暖化防止に向けて独自の継続的なエコドライブを実践し、CO ₂ 等削減を図る「グリーン・エコプロジェクト事業」の取り組み	(一社)東京都トラック協会 (東京都新宿区) SDGs 貢献賞
⑲	グループ全体での総合的なSDGsへの取り組みとして、森づくり、EV普及や市町村との災害連携協定をはじめとした一連の諸活動	山形日産グループ (山形県山形市)
⑳	小売店に移動販売車両と公園などの出店スペースをセットで貸し出し、地域に多様な移動店舗を提供する「&MIKKE!」の取り組み	(株)ShareTomorrow (東京都中央区)

②①	職業ドライバーのマナー向上・ユニバーサルデザイン化により、ドライバー・利用者双方の安全・安心に寄与し、地域に貢献する諸活動	神奈川トヨタ自動車(株) (神奈川県横浜市) 自動車ユーザー連携賞
②②	学生フォーミュラ大会の開催を通じて、大学生・高等専門学生が実践的なものづくりを学ぶ20年にわたる人材育成活動の継続	(公社)自動車技術会 (東京都千代田区) 自動車ユーザー連携賞
②③	工場の地元である衣浦湾沿岸で絶滅危惧種のコアジサシをはじめとした鳥類の楽園の復活や樹林の保全などに向けた取り組み	(株)豊田自動織機 (愛知県刈谷市)
②④	顧客とのやりとりから始まった結婚相談所「とよ婚」のサービス開始や太陽光パネルの普及拡大など地域の諸課題への積極的対応	ネッツトヨタニューリー北大阪 (株) (大阪府豊中市)
②⑤	経営理念である「地域社会に貢献する」一環として県内保育園・幼稚園へお散歩カーを継続的に累計175台寄贈するなどの取り組み	(株)CNホールディングス (千葉県千葉市)
②⑥	郊外エリアの地域再活性や移動機会増加を目指し、地域のコミュニティづくりをベースとしたアナログ重視型MaaS実装の諸活動	十勝バス(株) (北海道帯広市) 大賞
②⑦	創立75周年に開業した施設「ミナテラスとちぎ」を活用した一時預かり託児所開設や各種イベント開催など地域に貢献する諸活動	栃木トヨタ(株) (栃木県宇都宮市) 地域・コミュニティ活性化賞
②⑧	チェアスキー用ショックアブソーバーの開発および日本障がい者スキー連盟に対する協賛・技術サポートの取り組み	カヤバ(株) (東京都港区)
②⑨	本年4月より園児置き去り防止安全装置の取付義務化に先がけて、事業者の通園バスに無償モニターを取付ける支援策の展開	(株)IDOM (東京都千代田区)
③⑩	無償コミュニティバスを自家用有償運送によるドアtoドアのデマンド交通「村タク」に改善し、住民の利便性向上を図った取り組み	やまなみ交通運営協議会 (京都府南山城村)

以上

第 2 回(2022 年度) 「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」表彰式概要

1. 日 時：2023年2月10日（金） 15：00－16：30
2. 場 所：芝パークホテル 2階ローズ（東京都港区芝公園 1-5-10）
3. 出席者：日本自動車会議所 内山田会長
日刊自動車新聞社 高橋社長
鎌田選考委員長・各選考委員
各受賞者
会議所役員・会員 他
4. 次第等：①主催者代表挨拶
②選考委員長講評
③表彰状・副賞授与
④受賞者取り組みプレゼン・紹介 等

[取材のご案内]

▽表彰式については、コロナウイルス感染拡大防止に留意しながら、是非ご取材
いただきたく、ご依頼申し上げます。

▽取材ご希望の場合は、報道機関名、お名前、電話番号を明記の上、
E-mail. Award2022@aba-j.or.jp まで、
メールにて、2月7日（火）までにご連絡ください。

第2回（2022年度）「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」 ～日本自動車会議所感謝表彰～

主 催 一般社団法人 日本自動車会議所（全 164 会員）
株 式 会 社 日刊自動車新聞社

後 援 経済産業省・国土交通省・一般社団法人日本自動車連盟（JAF）・
全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）

目 的 (1)自動車業界で働く人々や、自動車ユーザーを含めた自動車にかかわる
全ての方々が、わが国の社会や自動車業界に果たしている貢献に対し
て、「ありがとう」と感謝の意を伝える
(2)表彰を通じて、それぞれの貢献の取り組みにあらためて注目を集め、
認知を広げることで、同じような取り組みが拡大していく一助とする。

応募対象 日々の業務・活動をベースにしながら、以下(1)～(4)のいずれかの分野
に実際に取り組む自動車業界で働く方々や自動車ユーザー（地域は全国）

- (1)モビリティに関する課題や、モビリティの手段を通じた社会課題の解決に
取り組んでいる。（例：交通安全、公共交通、MaaS 等）
- (2)地域や自治体と協働・連携し、地域活性化に取り組んでいる（含：災害・緊急時）
- (3)SDGs 目標達成につながる取り組みを行っている（含：教育、健康、福祉）
- (4)ユーザーとして自動車を大切に取り扱い、性別や年齢等に関わらず幅広い層か
ら評価されうる取り組みを行っている

受賞構成 選考委員会が行う応募内容の厳正・公正な審査により、大賞ならびに大賞に
準ずる各賞を選定（受賞数・詳細は選考委員会が決定）

応募・ (1)22 年 9 月 20 日 応募開始
選考日程 (2) 11 月 30 日 応募締切
(3) 年内 選考委員会による受賞者選定
(4)23 年 1 月 18 日 受賞者公表
2 月 10 日 表彰式開催 都内会場で当会議所会長より表彰状授与

選考委員会 委員長：鎌田実 東京大学名誉教授（委員は別添のとおり）
※法人の社会活動や自動車業界に詳しい有識者等で委員構成

応募要領 (1)日本自動車会議所もしくは日刊自動車新聞社のホームページ（HP）
にある本賞のバナーにアクセスし、応募申請フォームに記入し送信
(2)もしくは、応募申請フォーム（HP からダウンロードも可）に
記入し、電子メールで申請



<日本自動車会議所 HP アドレス <https://www.aba-j.or.jp/>>
<日刊自動車新聞社 HP アドレス <https://www.netdenjd.com/>>
<電子メールアドレス Award2022@aba-j.or.jp>

（本賞バナーQR コード）

以上

(別添)

選考委員

鎌田 実 東京大学 名誉教授

<委員長>

(一財) 日本自動車研究所 所長

関根 千佳 (株)ユーディット 会長兼シニアフェロー

森 撰 (株)オルタナ 代表取締役社長 「オルタナ」編集長

加藤 和夫 (一社) 日本自動車販売協会連合会 理事相談役

田口 亜希 (公財) 日本財団パラスポーツサポートセンター

推進戦略部ディレクター

山岡 正博 (一社) 日本自動車会議所 専務理事 (主催者事務局)

花井 真紀子 (株)日刊自動車新聞社 取締役 (主催者事務局)

以上